

(写真・文 太田祥作)

ニュウナイスズメ

(学名: *Passer rutilans*)

【スズメ目スズメ科】



▲ ニュウナイスズメ 左が雄、右が雌。スズメと異なり頬に黒斑はない

スズメと言えば、誰もが知っている身近な鳥ですが、只見町にはもう1種別にスズメがいるのはご存知でしょうか。それが、今回紹介するニュウナイスズメです。

スズメは、頬にある丸い黒斑が特徴的で、雌雄とも変わらない羽色をしています。一方、ニュウナイスズメはスズメより僅かに小さく、頬に黒斑がありません。雌雄で羽色が全く異なり、雄は背側が美しいレンガ色をしています。雌は薄茶色で、眼の上の白い眉斑が目立ちます。鳴き声はスズメによく似ていますが、若干澄んだ声をしています。



▲ スズメ 頬の黒斑が目立つ

風変わりな和名には諸説あり、スズメの頬の黒斑をほくろ（古名で「にふ」）に見立てて、ほくろがないことから「にふ無いスズメ」と呼ばれたことに由来する説などがあります。

ニュウナイスズメは寒冷地で繁殖します。日本国内では本州中部を境に北を繁殖地、南を越冬地として春秋に渡りを行います。営巣は、人家や電柱のほかに落葉広葉樹林の樹洞でも確認されており、スズメほどには人の生活圏に依存していないようです。只見町では、山手や谷筋の比較的小さな集落の周りでよく観察され、町の西側に多いようです。

スズメを見かけた際には、ちょっと意識して観察してみてください。もしかすると皆さんの家のすぐそばでも、ニュウナイスズメが雛を育てているかも知れません。

只見町ブナセンターからのお知らせ

現在ただみ・ブナと川のミュージアムでは下記企画展を開催中です。

企画展「雪国のブナを極める」

会期：2023年4月15日(土)～7月24日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

また、6月には下記観察会を開催予定です。詳細は只見町ブナセンター(0241-72-8355)までお問い合わせください。

「春から初夏の野鳥観察会」5回目

日時：6月25日(日)9:00～12:00

集合：森林の分校ふざわ 駐車場に9:00集合 ※事前予約制